

これは、使い捨てプラスチックの利用をやめるように事業主に求める際に、最初にコミュニケーションを始める際に使えるフレーズの例です。電話やメール、または直接会って話すときに使えます。それぞれの目的に合わせて、キャンペーンへの参加を促すための事業主との最初のアポイントメント用に自由に使ってください。

こんにちは

私は市内（区内）在住の【自分の名前】と申します。
地元のいくつかの店舗を対象に、使い捨てプラスチック（レジ袋やストローなど）を使わないようにしていただくために、少しお話をさせていただいています。

今、世界中でプラスチックごみが非常に大きな問題となっています。地球規模でプラスチック汚染が危機的な状況を生み出していて、それを引き起こしているのは1回限りの使い捨てプラスチックの大量生産と大量消費です。毎年何十億もの使い捨てプラスチックが生産・消費され、プラスチックごみが海を汚しています。リサイクル事業では消費社会の規模に追いつくことはできていません。“生分解性”と表示された製品を目にするようになりましたが、残念ながら使い捨て社会の解決にはなりません。

ストロー、カップ、スプーン類、容器、包装、などの使い捨てプラスチックの大半は、焼却されるか、埋め立てられるか、環境の中に投げ出されるかしています。いったん生活環境に排出されたプラスチックは、劣化して小さくバラバラになるばかりで分解されることはなく、化学物質を染み出させ、海の生きものや生態系を余すところなく汚染していきます。プラスチックはシーフード、海塩、ペットボトルの水などに確認され、そのほかにどんなところに混じっているかはまだ明らかになっていません。

この問題に対して、私たちの地域レベルでも、変化を起こすために簡単な方法がいくつかあります。そこで、ぜひ貴店の力をお借りしたいのです。スターバックスやイケア、マクドナルドなど、企業が、脱プラスチックへと移行する世界的な動向が見られています。ストローなどの不必要な使い捨てプラスチックの提供をやめて、代わりに再利用できるものやより環境に優しいものを企業側が探しているところです。

こういった動きによって、プラスチックごみが減り、ビジネスにも良い期待ができます。使い捨てプラスチックの提供をやめて、すべて堆肥化可能な、リサイクル素材でできた容器のみに完全に移行しているカフェもあります。顧客側も、ゴミの削減に取り組んでいる店舗により好感を持ちます。

このような企業のように、貴店が使い捨てプラスチックを使わない”プラスチックフリー”に移行していけるようにお手伝いをさせていただきたく、今回お便りを差し上げました。貴店の取り組みを顧客に説明するために、窓に貼るポスターやポップ、そして公式にプラスチックフリーに取り組むことを宣言するためのレターなど、私のほうでお手伝いさせていただくことができます。また

キャンペーンに参加していただいたことを、SNSを通して宣伝させていただきます。

プラスチック汚染の問題に懸念をもつ地元民として、そしてこのようなお店をよく利用させていただいている一人の顧客として、循環型の社会を一緒に作っていくという意欲的な店舗を、私は強く応援していきたいと思っております。

ここまでお読みいただきましてありがとうございました。以下の私の連絡先にご自由にご質問等をいただけましたら幸いです。どうぞよろしく願いたします。